

① これまで(前回まで)と比べてどのような変化があったか(本人・環境)。

- ・体験談を聞いたり、見学や体験利用を行った。
  - 本人に具体的なひとり暮らしのイメージがわいてきた。
  - 支援を受ける必要もあるが、ひとり暮らしに向けた意欲と自信が生まれた。
  - 家族がその姿を見て、本人にはひとり暮らしができるかもしれないという気持ちになってきた。
- ・お金のやりくりを自分で試してみることとし、その使途を可視化した。
  - まとまったお金の管理や1万円を超えるお金の計算には継続的な支援必要と本人も周囲も実感した。
  - 周囲を喜ばせようと買い物をする姿が見られた(高価な菓子など)。
  - Suicaは入金ルールを決める、履歴印字をして可視化するなどで問題なく使えている。

② 本人のゴールは達成されているか。ゴールに向かって進んでいるか。

- ・まだ準備期間は必要であるが、ゴールに向けた具体的なショートステップの切り方がわかってきた(本人・家族・支援者)。

③ 本人の満足度はどうか。

- ・自信もついてきたが、新しいことを短期間に色々経験し、負担感も感じている様子である。

④ 本人の想いやゴール設定に変化はあるか。

- ・特に変化はなく、目標がより具体化されてきている様子である。

⑤ アセスメントを大きく整理しなおしたり、計画を修正する必要があるか。

- ・グループホームの体験利用を試みたが、最初からひとり暮らしに向けて準備に入っても十分可能そうである。

⑥ サービス等利用計画のモニタリング頻度は適切か。

- ・大きく生活に変化をもたらそうとしている時期であり、当面は毎月モニタリングが必要である。

※上記の視点をもとに、より具体的に記入する。